

# 未来へつなぐ 三郷町総合戦略 (概要版)

令和7年3月  
三郷町

## はじめに

わが国では、人口減少と少子高齢化の進行が深刻化しており、地方の人口減少の抑制及び持続可能で魅力あるまちづくりを推進する「まち・ひと・しごと創生法」が平成26年に制定されました。また、その後、地方創生のための取り組みが続けられてきましたが、東京一極集中や少子高齢化の進行は依然として大きな課題となっております。



そのため、国は令和4年に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定し、デジタル技術の活用による地方と都市の格差の解消や地域の持続的な発展を目指しています。このような流れのなか、本町におきましても、「第2期三郷町まちづくり総合戦略(令和2年から令和6年)」を刷新し、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を反映した新たな地方版総合戦略として「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」を策定することとなりました。

今回策定しました「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」は、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき、特にWell-Being(幸福感)に焦点をあて、住民の皆さまの「今の」幸福度を高める施策を推進するとともに、「こどもに未来を、未来に希望を」という「次世代への」施策もしっかりと推進していくという想いを形にしたものです。

また、「あらゆる面ですこやかに」をテーマに、心穏やかに健康にすごせるまちを目指し、年齢や性別、障がいの有無を問わず、誰もが個性と多様性を尊重され、生きがいを感じながら暮らすことができる生涯活躍のまちをデジタル技術も活用しながら、さらに推進していきます。

住民の皆さまの幸福度を高め、より良い未来をつくり「すこやか未来都市さんごう」として地域が発展を続けられるよう、まちづくりを進めてまいります。

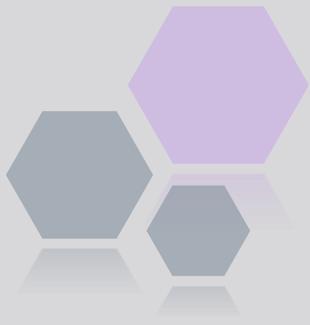
結びに、本計画の策定にあたりご尽力をいただきました「三郷町デジタル田園都市国家構想総合戦略策定有識者会議」の委員をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。

令和7年3月

三郷町長 木谷 慎一郎

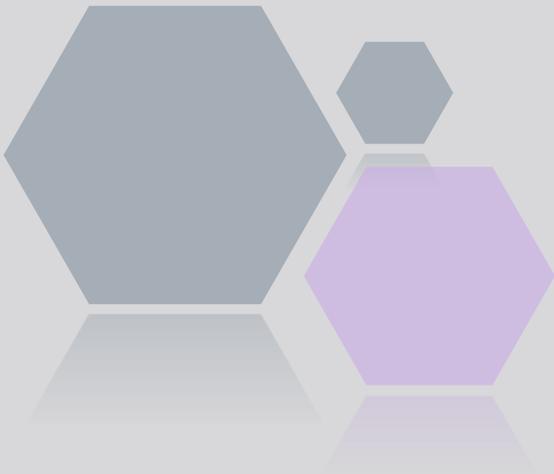
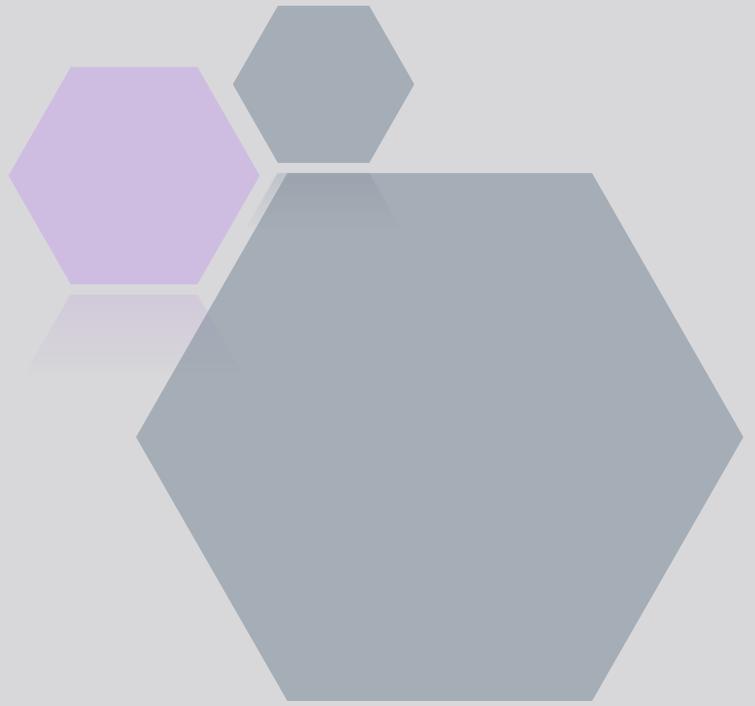
お読みいただくみなさまへ

本紙は「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」の概要版であり、全体版の抜粋です。具体的な施策の中身など、より詳細な情報は全体版をご覧ください。



# 第1章

## 総合戦略について



# 1 策定の背景・目的

## 1 国によるデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定

日本では平成20年頃から人口減少が始まり、特に地方から都市部への人口流出と出生率の低下が問題となっています。これに対し、国は平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、翌年には「長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定しました。しかし、東京一極集中や少子高齢化は進行しています。

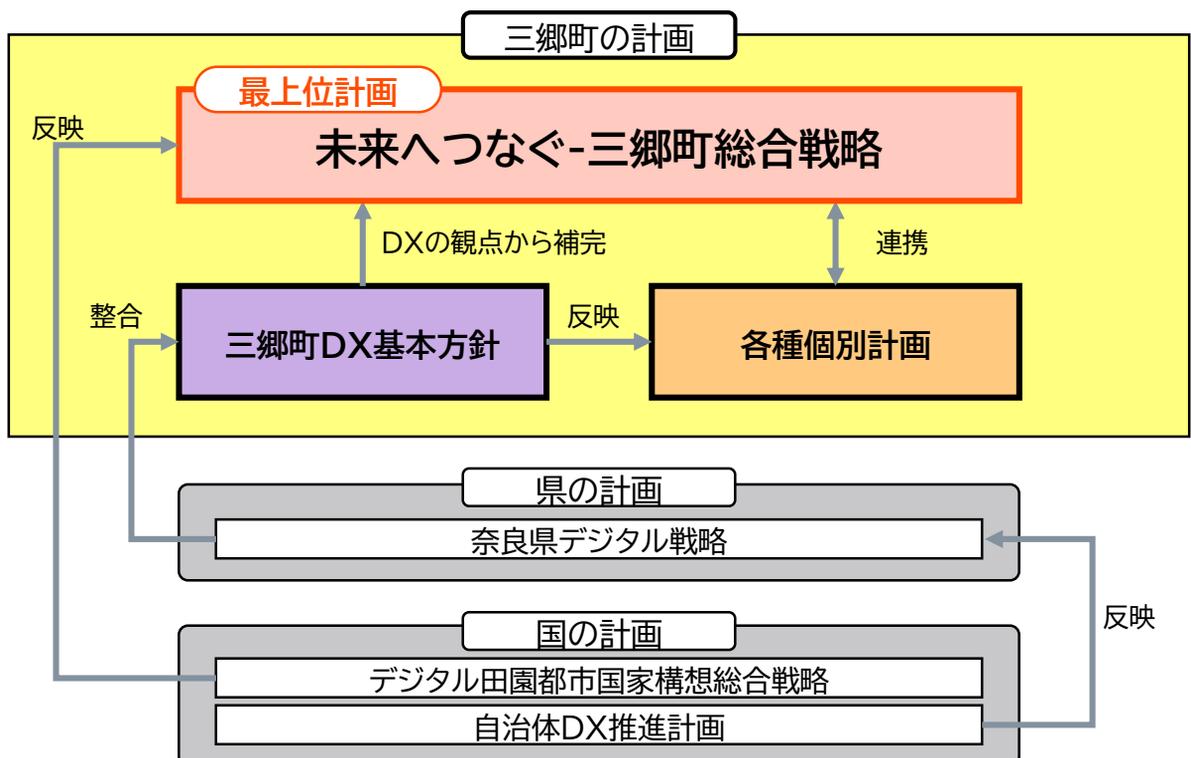
令和4年に策定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略」では、デジタル技術を活用して地方と都市の格差を解消し、地方の活性化と若年層の定住促進を目指しています。具体的には、リモートワークやデジタル教育、地域産業の高度化、スマートシティの推進などが含まれます。

三郷町もこの戦略に基づき、「三郷町人口ビジョン」の見直しと「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」を策定しました。

## 2 計画の位置づけ

「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」は、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の内容を反映し、「子どもに未来を、未来に希望を、すこやか未来都市さんごう」のビジョンを実現するための新たな「まちづくりの指針」として三郷町の最上位計画として位置づけます。

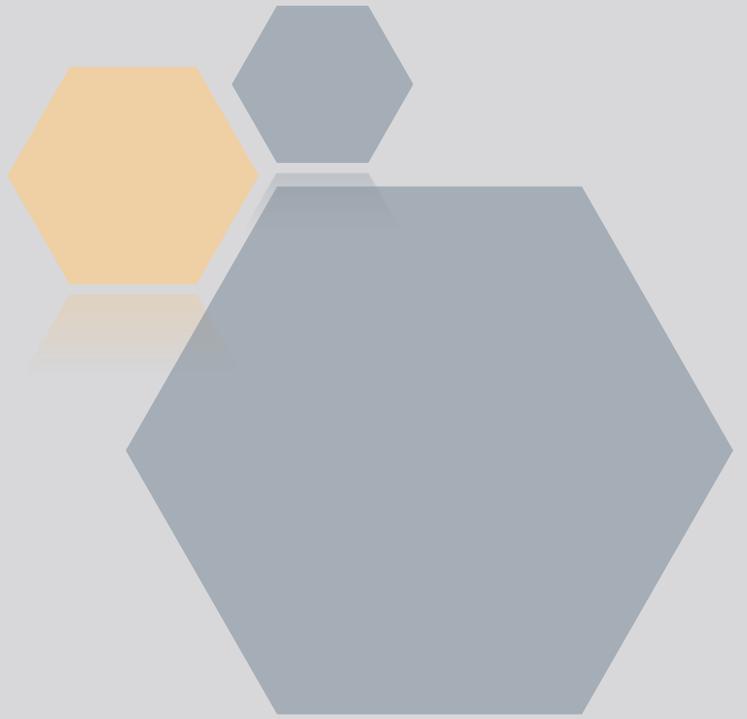
また、令和元年度に策定した「奈良県三郷町SDGs未来都市計画」の見直しに伴い、本総合戦略に計画内容を盛り込み、加えて「三郷町DX基本方針」等の各種個別計画と連携を図りながら、基本目標達成に向けて計画を進めます。





## 第2章

### 三郷町人口ビジョン 改訂版

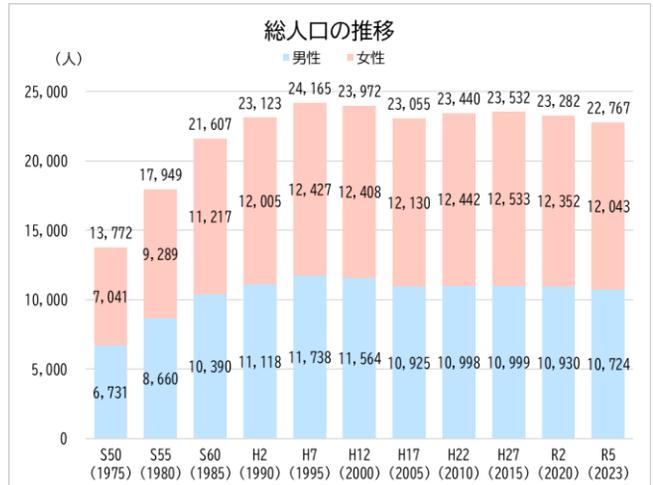


# 1 人口の現状及び将来推計

## 1 総人口の推移

### 近年ゆるやかな減少傾向で推移

- 総人口は、平成7年(1995年)の24,165人をピークに、以降は微減及び横ばいの状態で推移。
- 近年の推移は、平成27年(2015年)以降、ゆるやかな減少傾向に転じているものの、全国的には人口減少・少子高齢化が進んでいる中、三郷町の総人口は微減にとどまる。

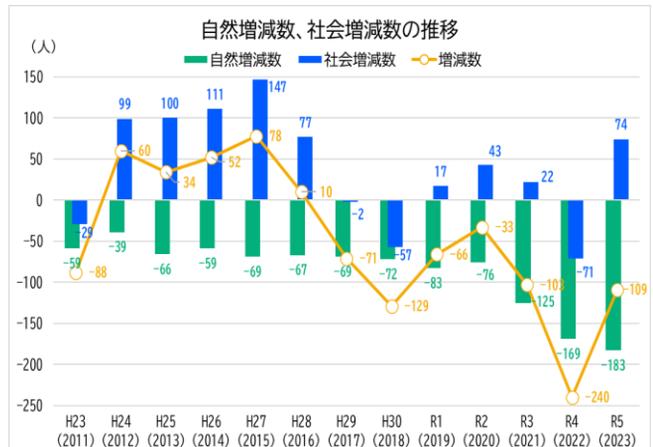


奈良県 政策推進課HPに基づき作成

## 2 自然増減・社会増減

### 自然減に対し、社会増が見られる強み

- 平成23年(2011年)以降、**自然増減数**は減少傾向にある一方で、**社会増減数**は増加を示す年度が多く、転入超過がみられる。
- 一貫した自然減の傾向が進行する中でも社会増の傾向がみられることが三郷町の強み。

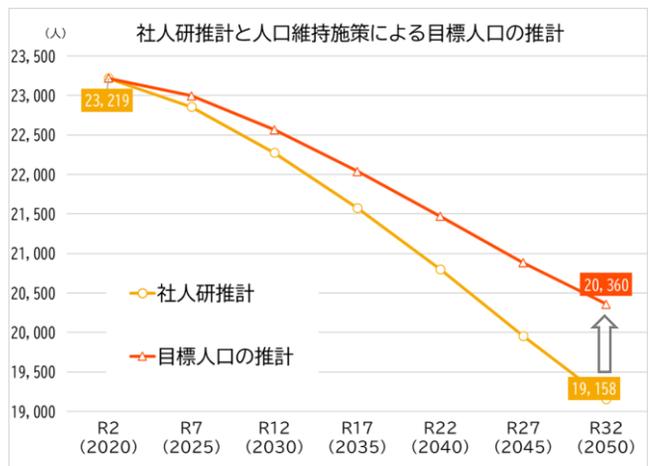


総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」に基づき作成

## 3 人口の将来推計

### 出生率向上と社会増を図る取組の推進

- 三郷町の人口維持施策を検討するため自然増減、社会増減の施策効果を仮定し人口推計を実施。**社会増施策**が将来人口推計に与える影響が大きいことが分かった。
- 三郷町を支える生産年齢人口の転入促進、転出抑制により**社会増傾向**を維持しながら、合計特殊出生率の向上を図り、人口維持を目指すことが必要である。

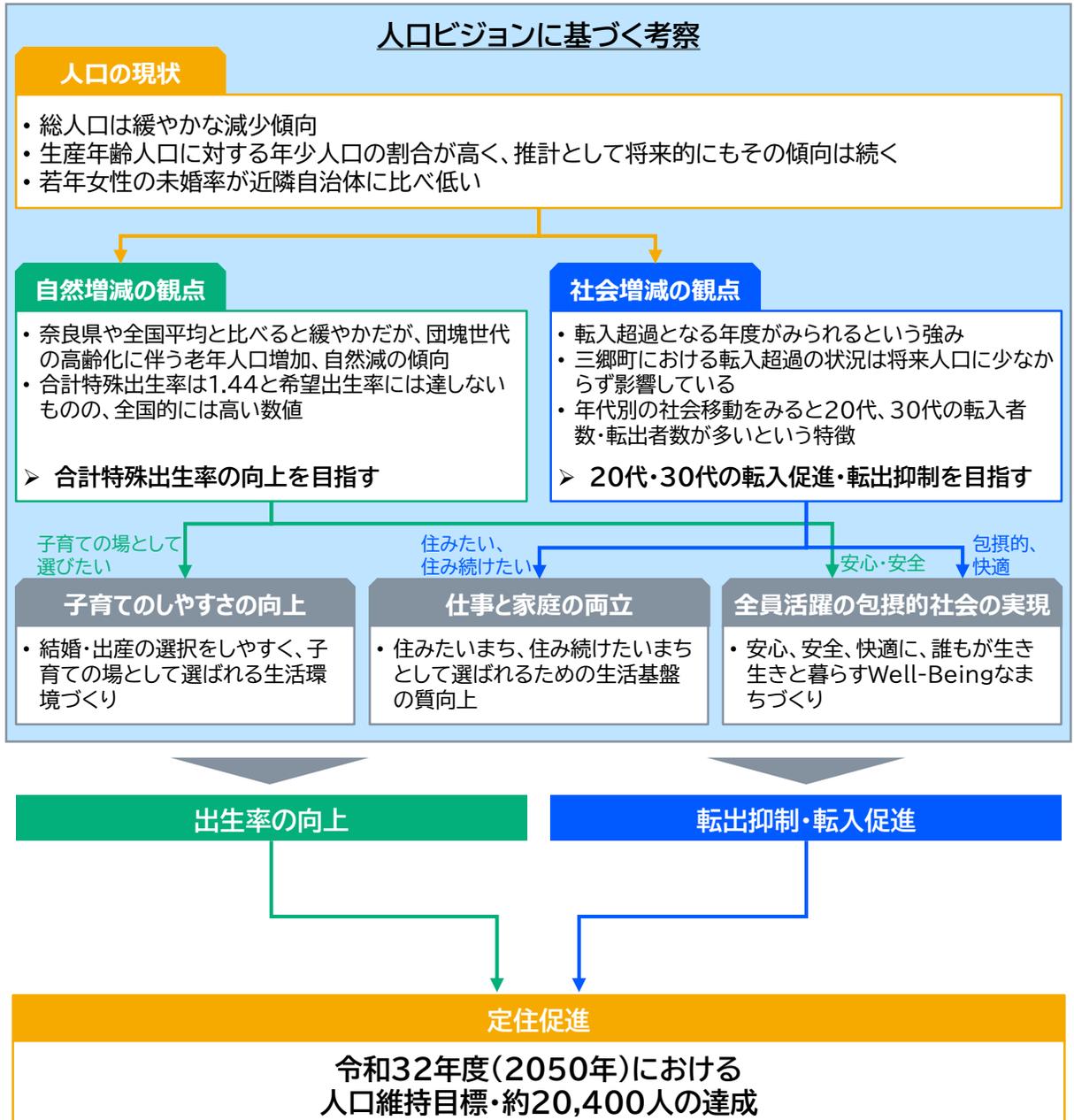


人口ビジョンでは、まず現状の人口等を把握したうえで、自然増減・社会増減に事象を分解し、それぞれの増減の観点で何を指すかを明らかにしました。

次に、そのために求められるまちづくりの方向性を「子育てしやすさの向上」「仕事と家庭の両立」「全員活躍の包摂的社会的実現」という3つに整理しました。

最後に、この3つの方向性を前項の基本目標の4テーマと照らし合わせ、どのような観点でテーマに反映するかを整理しました。

このように人口ビジョンに基づく考察を基本目標に反映することで、令和32年度(2050年度)における人口維持目標・約20,400人の達成を目指します。





# 第3章

## 未来へつなぐ-三郷町総合戦略



# 1 Well-Being指標を活用した総合戦略

## 1 Well-Beingとは

「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」においては、三郷町として初めて策定にあたってWell-Being(ウェルビーイング)の考え方を導入しました。

Well-Beingとは、身体的、精神的、社会的にすべてが良好な状態を指し、「心も体も、そして社会とのつながりも満たされている状態」を意味します。

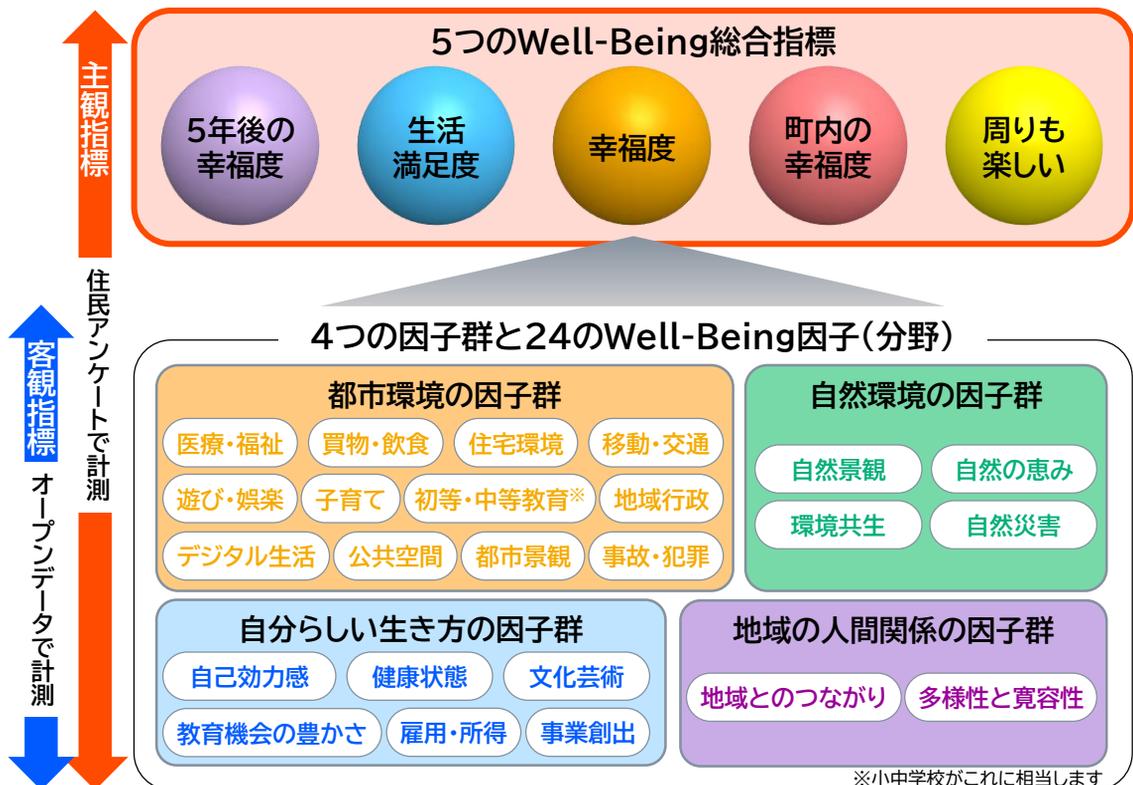
Well-Beingの考え方はデジタル庁等が推進している「Well-Being指標」を使用することで、住民の幸福度や暮らしやすさを可視化し、課題の特定と改善策の検討に役立ちます。

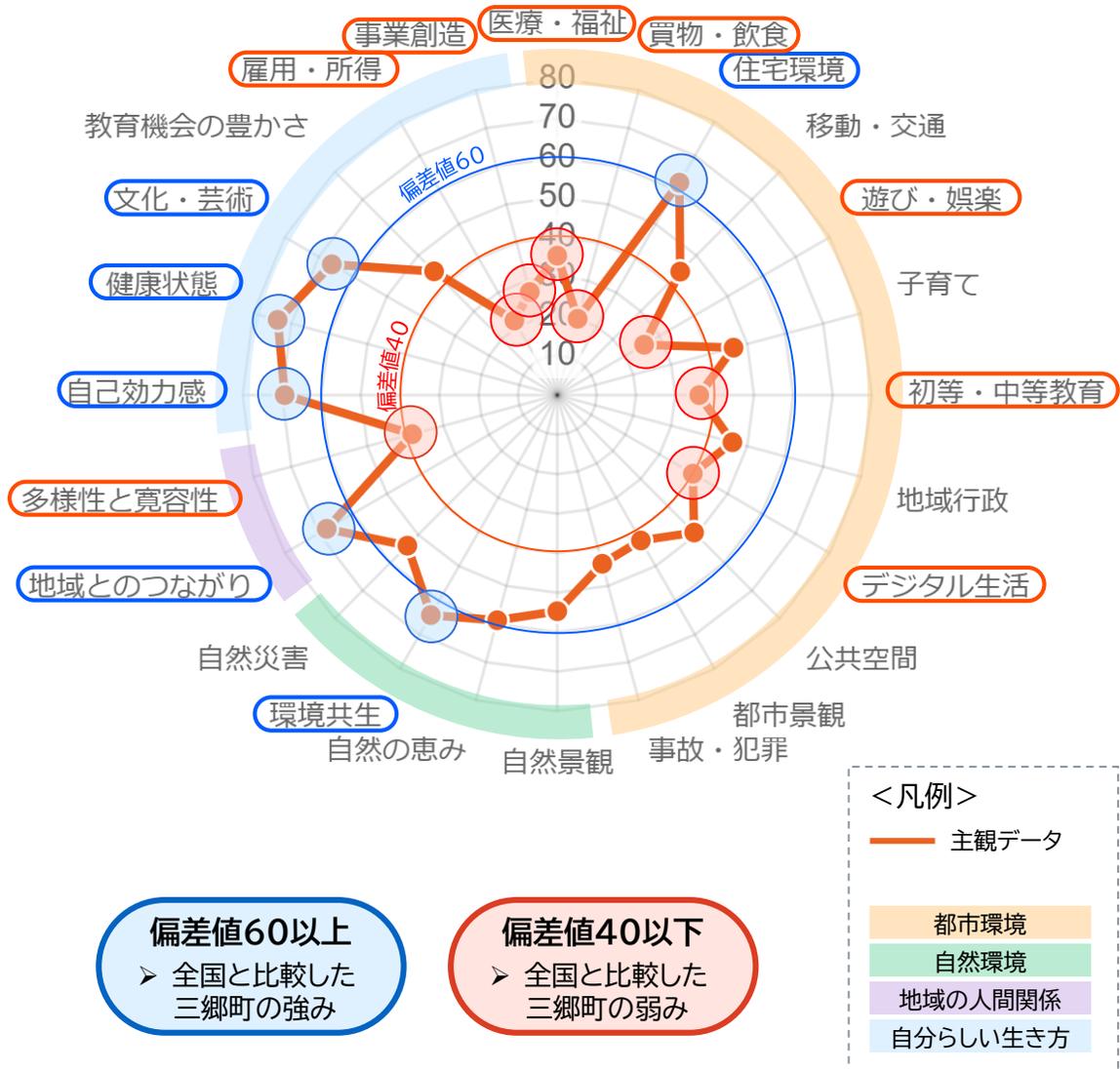
## 2 Well-Being指標の構成

Well-Being指標は主観指標と客観指標に分類されます。主観指標は住民アンケートで測定し、客観指標はオープンデータから計測します。

主観指標と客観指標は4つの因子群「都市環境」「自然環境」「地域の人間関係」「自分らしい生き方」にカテゴライズされた24のWell-Being因子(分野)で構成されます。各因子において医療・福祉サービスの充実度や地域の人間関係の豊かさ等をデータ化し、評価します。

更に主観指標においては、24のWell-Being因子(分野)とは別に地域における幸福度・生活満足度を計る5つの総合指標を計測します。





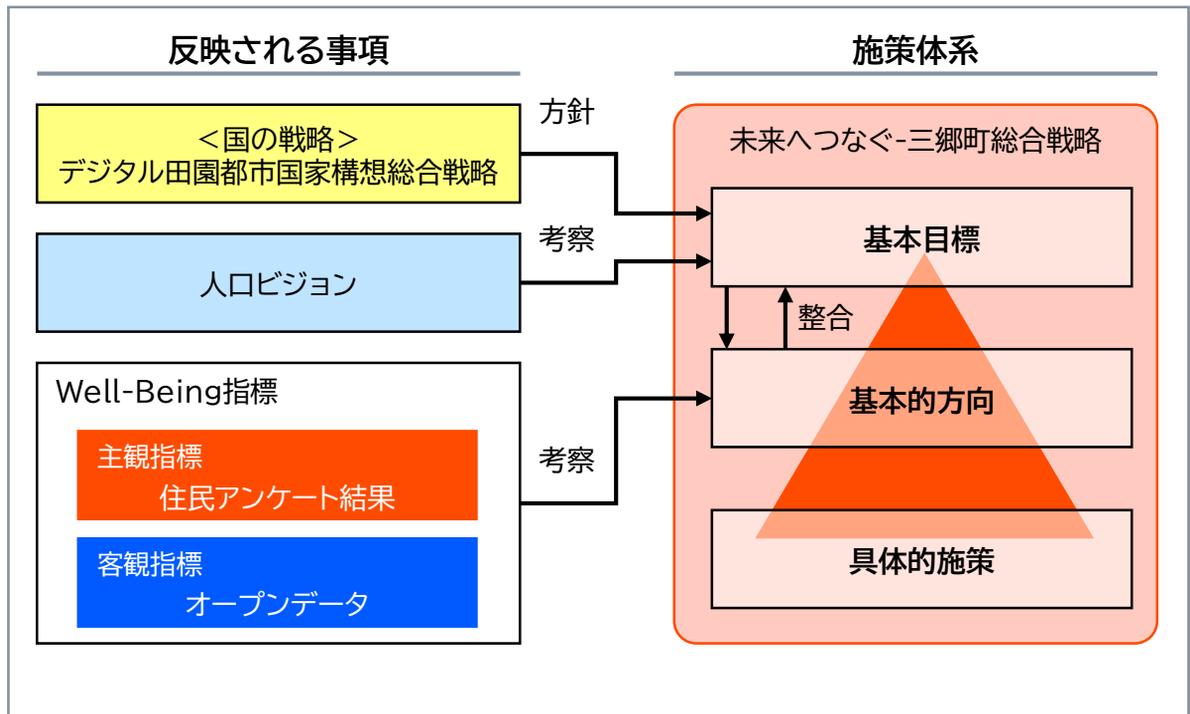
### 【結果のポイント】

- 上記は、住民アンケートでの24の因子に対する回答結果を偏差値化したレーダーチャートです。
- 全国平均と比較した結果、住民が三郷町の特徴と認識している偏差値60以上の因子は、「住宅環境」、「環境共生」、「地域とのつながり」、「自己効力感」、「健康状態」、「文化・芸術」の6つでした。一方で、弱みと認識している偏差値40以下の因子は、「医療・福祉」、「買物・飲食」、「遊び・娯楽」、「初等・中等教育」、「デジタル生活」、「多様性と寛容性」、「雇用・所得」、「事業創造」の8つでした。
- この結果から、三郷町は住宅地として発展してきた背景から、住宅環境や、信貴山や龍田大社といった自然環境や歴史的資源を住民が強みとして認識している一方で、事業創造や雇用・所得、買物・飲食といった産業的な面では弱みと認識されていることが見てとれます。

## 2 基本的な考え方

### 1 総合戦略の構成

「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」は、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略、人口ビジョン、Well-Being指標等から方針や考察を反映し、施策体系(基本目標・基本的方向・具体的施策)を構築しています。



#### ◆ 基本目標

自治体が目指すべき長期的なビジョンや成果を示します。この目標は、地域社会の持続可能な発展や住民生活の質の向上を目指し、具体的な施策の方向性を定めるための指針となります。「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」では国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の施策の方向と人口ビジョンからの考察を反映し、基本目標を設定します。

#### ◆ 基本的方向

基本目標を達成するための具体的なアプローチや戦略を示します。これには、地域の特性や資源を最大限に活用し、課題を解決するための方針が含まれます。「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」ではWell-Being指標を活用し、主観指標である住民アンケート結果や、客観指標であるオープンデータを基に、Well-Being因子(分野)に紐づく各分野(例:医療・福祉、住宅環境等)における具体的な方向性を明確にします。

#### ◆ 具体的施策

基本的方向に基づいて実施される具体的なアクションプランやプロジェクトを示します。これには、施策の具体的な内容の他、進捗目標(KPI)が含まれます。「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」では基本的方向ごとにそれぞれ1つから複数の施策を考案し、向こう5年間の取り組み内容を設定します。

### 3 取組期間と推進体制

#### 1 取組期間

三郷町人口ビジョン及び「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」の取り組みは、国や県の長期ビジョン及び総合戦略との整合を図り、下記の期間とします。

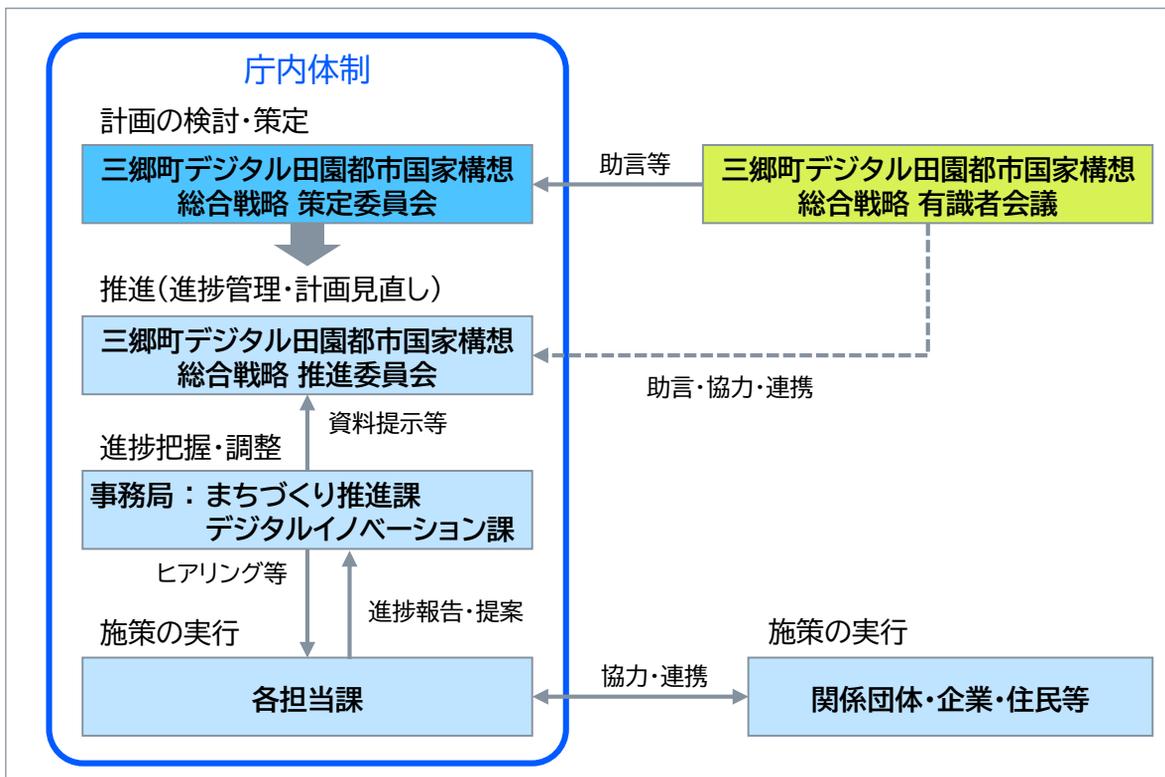
未来へつなぐ-三郷町総合戦略 及び 改訂版人口ビジョン:令和7~11年度

※ 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の期間:令和5~9年度  
奈良県のデジタル戦略の期間:令和4~7年度

#### 2 推進体制

「未来へつなぐ-三郷町総合戦略」策定は、町長を委員長とする「三郷町デジタル田園都市国家構想総合戦略策定委員会(以降、策定委員会という)」において検討するほか、外部有識者で構成する「三郷町デジタル田園都市国家構想総合戦略有識者会議」の助言を得て策定しました。

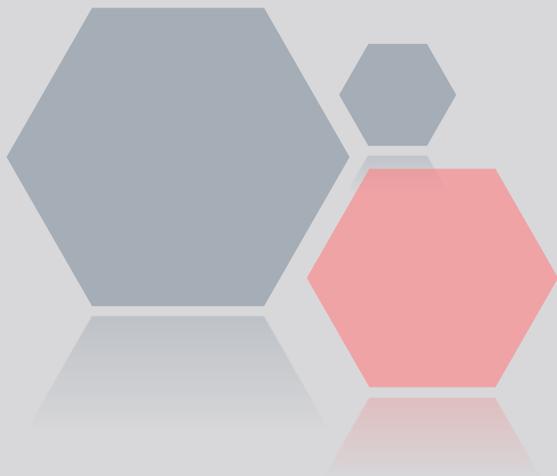
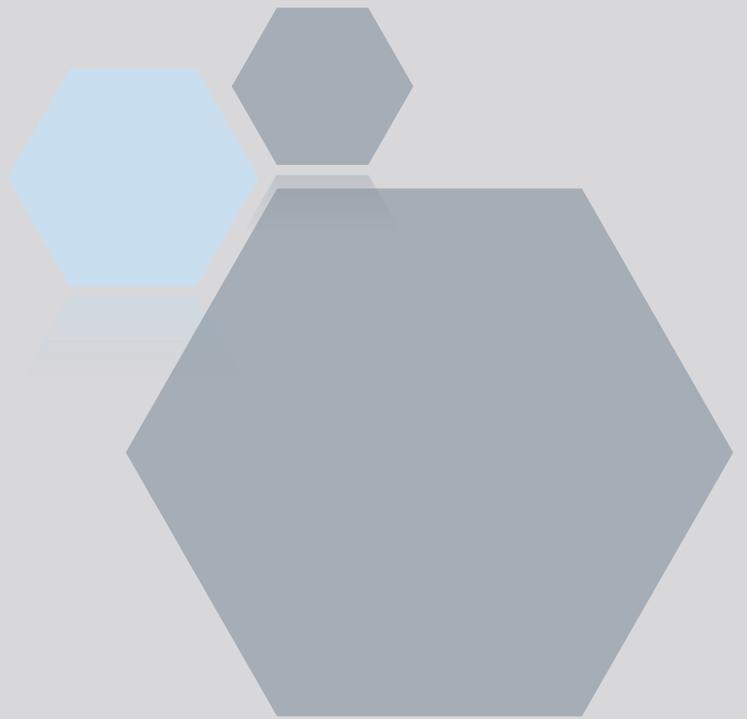
策定した総合戦略を着実に推進するため、策定委員会の委員で構成する三郷町デジタル田園都市国家構想総合戦略推進委員会において施策の進行管理を行います。





# 第4章

## まちづくりの具体策



## 基本目標 1

# 子どもをすこやかに 未来へ育むまちづくり



### 1 基本目標の考え方

子どもたちが心身ともにすこやかに成長し、未来への希望を育める環境づくりを目指します。親や地域が安心して子育てに取り組めるよう、子育て支援の充実を図るとともに、質の高い教育環境を整備します。

また、透明性の高い地域行政の推進とデジタル技術の活用により、子育て世代を含む住民が安心して暮らせるまちを実現します。

### 2 数値目標

指標名	基準値	目標値(R11)
出生数	111人	150人
子育て層(20~39歳)の人口割合	18.9%	20%

### 3 基本的方向及び具体的施策の内容

基本的方向	具体的施策
1 子育て支援の充実	01 子育て支援センターの充実と地域コミュニティの強化
	02 一時預かり支援と地域をあげてのファミリーサポートの強化
	03 育児教室による子どものすこやかな成長支援
	04 ファーストバースデー事業による子どものすこやかな成長支援
	05 誰一人取り残さない乳幼児施設の運営と地域交流の強化
	06 デジタル活用による入園選考の迅速化
	07 延長保育の充実による仕事と育児の両立支援
	08 不妊治療費助成と心理的サポートの強化
	09 子ども医療費助成及びひとり親家庭等医療費助成
	10 母子保健記録の電子化とオンライン化による利便性向上
2 質の高い教育環境の整備	11 ICT教育の更なる推進
	12 いじめ対策と不登校児童・生徒への支援強化
	13 出欠連絡システムによる児童・生徒の保護者の利便性向上
	14 デジタル活用による更なる食育・地産地消の推進
3 広く開かれた透明性の高い行政	15 適正な財政管理による持続可能な町政運営
	16 まちのブランディング戦略と知名度向上に向けたPR
4 行政サービスの改革	17 行政サービスのデジタル化による住民利便性の向上
	18 高齢者デジタル支援プログラムによる情報格差の解消
	19 オープンデータ化の促進と官民連携の強化

## 基本目標2

# 暮らしやすさと利便性が 調和する安心のまちづくり



### 1 基本目標の考え方

住民一人ひとりが安心して暮らせる快適さと利便性が調和したまちを目指します。魅力ある住まい環境の整備や、公共交通の利便性向上により、生活のしやすさを向上させます。

また、都市基盤を整え、歩きたくなるまちづくりを推進し、医療・福祉サービスの充実により、暮らしに寄り添う安全なまちづくりを実現します。

### 2 数値目標

指標名	基準値	目標値(R11)
転入者数	943人	1,000人

### 3 基本的方向及び具体的施策の内容

基本的方向	具体的施策
1 快適な住まい環境づくり	01 空き家活用支援の強化
	02 家賃助成と住宅取得支援の強化
	03 安心して暮らせる公営住宅の供給と生活支援の強化
	04 移動式スーパー及び商業誘致による地域買物支援
	05 割引パスの発行による事業所支援
	06 民間イベント誘致によるにぎわいの創出
2 都市基盤の整備と歩きたくなるまちづくり	07 安全で快適な都市計画道路の整備と歩きたくなるまちづくり
	08 デジタル技術を活用した社会インフラの老朽化対策
3 公共交通の利便性向上	09 地域公共交通の利用促進と予約制乗合タクシーの利便性向上
4 医療・福祉の充実	10 健康づくりと生活習慣病予防の意識向上
	11 地域全体での発達支援と療育の強化
	12 介護予防とフレイル対策強化による健康寿命の延伸
	13 認知症予防と支えあう地域づくり
	14 特定健診診査の受診率向上
	15 地域包括ケアシステムによる自分らしい暮らしの支援
	16 障がい者(児)の権利保護に向けた相談支援
	17 ゲートキーパー育成と地域連携によるこころの健康づくり

## 基本目標3

# 地域資源を活かし人と経済が活性化するまちづくり



### 1 基本目標の考え方

三郷町の地域文化や観光資源を活用し、人々の交流や地域経済を活性化するまちづくりを進めます。地域文化と観光の振興、多様性を尊重した共生社会の実現、生涯学習環境の充実を図ることで、誰もが活躍できる活力あるまちを目指します。

また、民間活動や地域住民の主体的な取り組みを支援し、地域内外のつながりを生み出す環境を整備することで、新たな経済活動の創出を促進します。

### 2 数値目標

指標名	基準値	目標値(R11)
観光入込客数	789,415人	1,000,000人

### 3 基本的方向及び具体的施策の内容

基本的方向	具体的施策
1 地域文化と観光の振興	01 奈良おもちゃ美術館によるにぎわいと交流の促進
	02 日本遺産事業との連携による観光客向けPR活動の強化
	03 デジタル活用による地域観光の推進
	04 外国人観光客の受け入れ環境の整備
2 地域活性化とつながりの強化	05 観光ボランティアの育成と地域連携による観光振興
	06 ふるさと納税「ガンバレ三郷！応援寄附金」の推進と特産品PR強化
	07 FSS35キャンパスを核とした生涯活躍のまちづくり
	08 ひまわり畑プロジェクトによる交流促進
	09 多様なイベントと広報強化による婚活支援の推進
	10 地域課題解決のためのメンター発掘・育成と連携強化
3 多様性と共生のまちづくり	11 デジタル活用による人権啓発の推進
	12 多様なイベントと広報強化による男女共同参画の推進
4 生涯学習環境の充実	13 多世代参加型の生涯学習と遠隔学習の推進
	14 図書館における多様なサービスの提供と読書バリアフリーの推進
	15 ICT活用による学校図書の利用促進
5 地域経済の活性化	16 テレワークの更なる普及促進
	17 特産品等の販路拡大支援とスマートアグリ推進
6 誰もが活躍できるまちづくり	18 高齢者や障がい者の活躍の場づくり

## 基本目標4

# 自然とともに健康・安全に暮らせるまちづくり



### 1 基本目標の考え方

豊かな自然環境と調和しながら、住民が健康で安全に暮らせるまちづくりを推進します。環境共生型都市の実現を目指し、持続可能な社会の構築に取り組むとともに、防災・減災の推進や地域の安全性向上を図ります。

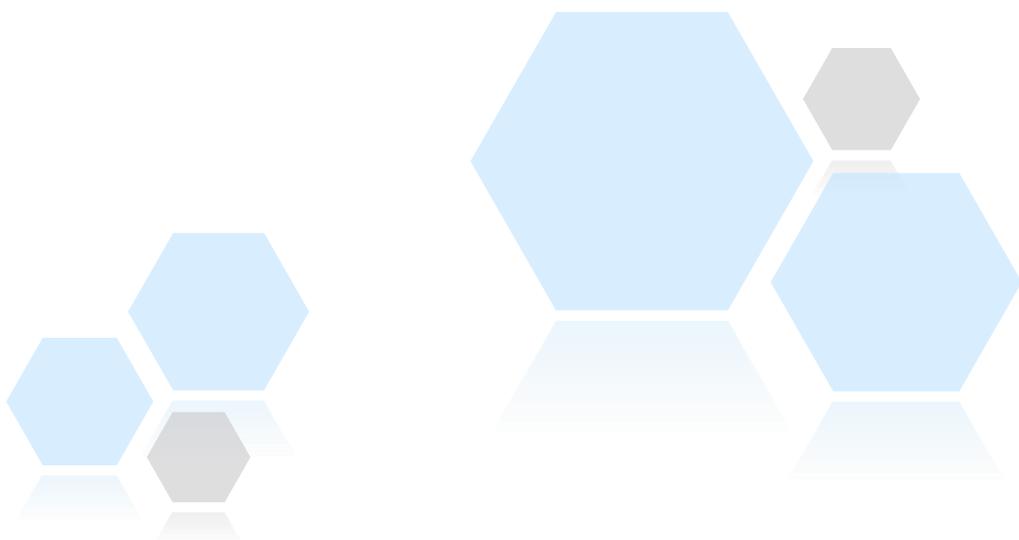
また、健康づくりや活力向上に向けた取り組みを進め、自然と共生した豊かで安心な暮らしを支えます。

### 2 数値目標

指標名	基準値	目標値(R11)
総人口	22,361人	22,600人

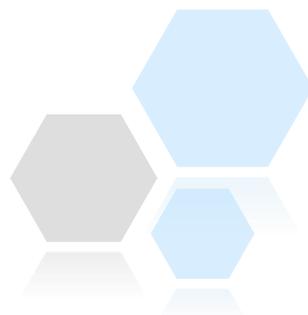
### 3 基本的方向及び具体的施策の内容

基本的方向	具体的施策
1 環境共生型都市の実現	01 地域をあげた環境保全と緑化推進
	02 リサイクル意識向上によるごみ資源化の推進
	03 デジタル活用による下水道施設の利便性・安全性の向上
2 防災・減災の推進	04 雨水溢水地区の解消と災害に強いまちづくりの推進
	05 平時からの災害対策
3 安全な地域づくり	06 地域連携とデジタル技術による犯罪件数の削減
	07 地域連携とデジタル技術による子ども見守り活動の強化
	08 独居高齢者への見守り・搜索システムの強化
	09 交通安全強化と免許返納の促進
4 スポーツ振興による活力の向上	10 多世代交流と健康促進を目指したスポーツ振興



## 未来へつなぐ三郷町総合戦略(概要版)

発行年月：令和7年3月  
発行：奈良県三郷町  
企画編集：総務部まちづくり推進課



〒636-8535 奈良県生駒郡三郷町勢野西1丁目1番1号  
TEL：0745-73-2101(代表) / FAX：0745-73-6334